

授業概要

日本語学の基礎を確認しながら、現代日本語の文法的な規則を講義する。そして、認知言語学による現代日本語文法へのアプローチを探っていく。そこから、国語教科書を題材に、その言語現象を文法的観点から検討する。国語教育をはじめとした社会につながる国語力を身につけられるよう講義する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	認知言語学の文法観
第 3 回	社会の中の国語力と学校の中の国語力
第 4 回	推論と意図理解
第 5 回	<文字通りでない意味>の日常性
第 6 回	似ていない比喻
第 7 回	文法とレトリック
第 8 回	物語における<文字通りでない意味の理解>
第 9 回	比喻からみた慣用句
第 10 回	文章に書いていないことを読む
第 11 回	文法と視点
第 12 回	話しことばにおける<文字通りでない意味>の理解
第 13 回	コミュニケーションからみた文法
第 14 回	言語研究に役立つツール
第 15 回	授業のまとめ
第 16 回	レポート提出

到達目標

1. 日本語の文法に関する、概念・機構・機能などの特質を理解することができる。
2. 日本語の文法の調査・分析の方法を身につけ、その研究実践を行うことができる。
3. 日本語の文法について、認知言語学の観点から考察することができる。

履修上の注意

遅刻・欠席はしないように。
毎回リアクションペーパーを提出してもらう。

予習・復習

その日のテキストの該当箇所を予め読んでおく。
配布されたプリントを読み返す。

評価方法

- ①期末レポート 50%、②小課題 40%、③平常点、授業参加への積極性 10%

テキスト

- ・教科書名：『社会につながる国語教室—文字通りでない意味を読む力』
 - ・著者名：菅井三実
 - ・出版社名：開拓社
 - ・出版年（ISBN）：2021年（978-4-7589-2592-1）
- その他にも授業資料も配布する。参考文献は教場で適宜紹介する。